

2 到達目標、手立ての見直し

- 基本的には大幅な変更をせず、3年間は継続し効果等を確認する。
- 1月時点で評価を行い、評価の低い内容については年度内に到達できるように重点的に取り組む。
- 評価を行い、評価基準が評価しにくい場合や明らかに到達困難等の問題がある評価基準は見直しを行った。
- 「知」「徳」「体」の到達目標において次の項目の相関関係を点検し、到達目標と手立ての見直しを行った。なお、教師の行動達成度については手立てについての実践の状況の評価したものである。

※ ○ 達成できた × 達成できなかった

児童の達成度	教師の行動達成度	手立ての方向性
○	○	継続
○	×	原因を追究したうえで見直しまたは廃止
×	○	手立ての見直し
×	×	実践が継続される手立てに変更

(2) 到達目標の評価の改善を要する内容

- 1学年でも達成できなかった内容について、評価基準、手立てについて見直しを行うことにした。

※ 到達度 ○80%以上、△60～80%、×60%以下

	到達目標	児童の到達度	教師の行動達成度	改善点
知	毎日、必ず本を開いて少しは読む。	△	○	家庭での読書記録も読書貯金通帳を活用し、記録する。
	話のだいたいを読み取ることができる。	△	○	国語技能の習得をねらった授業に取り組む。
	言葉のきまりがわかる。	△	○	学力テストの分析から、苦手な言葉のきまりを繰り返し練習させる。
	学年の漢字を全部覚える。	×	○	評価基準を 90 点以上→80 点以上に変更。
	勇気を持ち、はっきり最後まで言える。	×	△	授業の中で重点的に取り組む。
	話している相手を見ながらうなずいて聞く。	×	△	授業の中で重点的に取り組む。
	正しい姿勢で学習できる。	×	△	分校の合言葉も合わせて家庭と連携して取り組む。
徳	周りの友だちと仲良くする。	△	○	評価基準を全校と→だれとでもに変更。
	気持ちのよいあいさつができる。	×	○	取組を継続する。
	1日に1回はよいことをする。	×	○	評価基準を友達が困っていたときに変更。
体	体力テストの全項目が全国平均以上になる。	△	○	評価基準を全項目→6～7項目に変更。
	早起きができる。	×	○	評価基準を毎日→週6日以上に変更
	早寝ができる。	×	○	評価基準を毎日→週6日以上に変更
	バランスのとれた朝食をとることができる。	△	○	評価基準を毎日→週6日以上に変更